

## CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(6月26日時点)

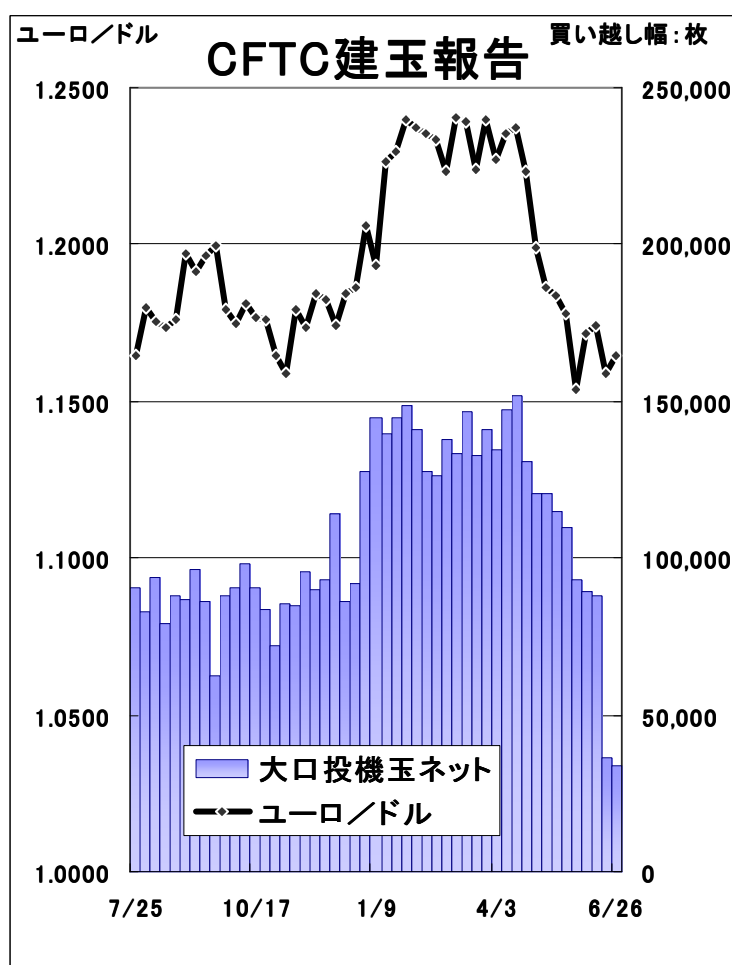
米商品先物取引委員会(CFTC)が6月29日に発表した建玉報告によると、26日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)の売越幅は、3万4221枚となり、前週比1341枚縮小。投機筋は売り買い共にポジションを減らし、売りポジションをより多く減らしていた。

期間中の円(対ドル)は上伸。米連邦準備制度理事会(FRB)による利上げペースの加速観測を背景に対主要国通貨でのドル高傾向が継続。トランプ氏は米国のハイテク企業に対する中国企業の投資を禁じるとともに、中国へのさらなる技術輸出を阻止する計画だと米紙ウォールストリート・ジャーナル電子版が報じたことで、米中貿易摩擦の激化への警戒感が一段と高まり、リスク回避の動きが強まった。ただ、米政権が第1弾の対中制裁関税を発動する7月6日にはまだ時間的猶予があり、米中間で水面下の交渉が行われ、貿易戦争を避けるべく、落としどころを探ることへの期待感が根強いことで、小幅な値動きに留まった。

期間中のユーロ(対ドル)は上伸。大口投機玉の買越幅は3万3904枚となり、前週比2214枚縮小。

21日の欧州金融市場で、イタリア国債の利回りが急伸(価格は急落)した。欧州連合(EU)懐疑派政権が発足した同国のユーロ離脱懸念が再燃したことで、ユーロ売りが加速。その後は、25日に発表された6月の独IFO企業景況感指数は、現況指数が105.1と2017年6月以来の低水準となったが、期待指数は98.6と市場予想(98.0)を上回り前月並みを維持したことで、ユーロ買いドル売りが進行した。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
02/27	107.36	-96,651	1.2231	137,977
03/06	106.20	-86,845	1.2405	132,972
03/13	106.54	-79,539	1.2391	146,380
03/20	106.53	-21,999	1.2240	132,739
03/27	105.38	-3,668	1.2401	141,064
04/03	106.62	3,572	1.2268	134,381
04/10	107.19	2,761	1.2352	147,463
04/17	107.01	2,591	1.2373	151,476
04/24	108.81	583	1.2231	130,594
05/01	109.85	-1,405	1.1991	120,568
05/08	109.12	-5,462	1.1864	120,505
05/15	110.36	3,680	1.1837	115,114
05/22	110.91	-2,767	1.1777	109,744
05/29	108.75	-8,036	1.1535	93,037
06/05	109.79	-3,437	1.1715	89,236
06/12	110.38	5,052	1.1744	88,225
06/19	110.08	-35,562	1.1588	36,118
06/26	110.07	-34,221	1.1646	33,904
前週比	-0.01	+1,341	+0.0058	-2,214



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。